



平成26年11月14日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向をふまえ、平成26年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 平成27年3月期連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 902	百万円 -	百万円 △303	百万円 △377	円 銭 △3.99
今回発表予想(B)	750	-	△558	△576	△6.09
増減額(B-A)	△152	-	△255	△199	-
増減率(%)	△16.9%	-	-	-	-
ご参考: 前期実績(平成26年3月期)	456	△1,154	△682	△688	△7.90

(注) 平成27年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成26年8月1日を効力発生日として普通株式及びB種類株式1株を5株に分割する株式分割を考慮した額を算定しております。

(注) 当社の研究開発活動においては、行政機関等よりその費用分に見合う助成金等を受給して研究開発を行うことがあり、この場合は、研究開発費(販売管理費)と助成金等の収入(営業外収益)が連動して計上されることとなります。このため、営業損益の予想値については、かかる研究開発の有無によって営業損益が大きく変動するため、誤解を与えるリスクを考慮し開示しておりません。

### 2. 修正の理由

ドイツ事業では、一部の労災保険病院においてHALによる機能改善治療が公的労災保険の適用を受け順調に開始しました。その後、ドイツの公的労災保険組合よりドイツ全域の労災病院での公認デバイスとして包括的に適用したいとの意向に従って、この数ヶ月をかけて交渉調整してきました。その結果、この11月に9つの全ての労災保険において治療費(治療1回あたり500ユーロ)の全額が保険収載される決定通知があり、これから当社のドイツ子会社と公的労災保険病院連合(KUV)間で包括契約の締結に向けて手続きに入ります。この9つの労災保険病院はドイツ各地域の代表的な病院であり、今後は、ここを拠点にドイツ全域での展開が可能となります。ただし、当該包括契約の締結が当初の見通しより遅延することになったため、傘下の労災保険病院での売上計上開始が当初計画よりずれ込みました。

また、中長期的な収益向上の観点からHAL治療の医学的効果を立証する更なる臨床データを蓄積すべく、HALの臨床試験を実施しているベルクマンズハイル大学病院と協議して、受入患者の大半を優先的に臨床研究の対象とすることとしました(当該臨床研究の成果に対しては、10月30日に「ヘルベルト・ラウターバッハ賞」を受賞)。その結果、短期的には、HAL治療から得られる保険料収入が当初見込よりも減少しました。

これらの状況を踏まえ、業績予想を精査した結果、ドイツにおける事業の売上高が当初の見込みを下回る見通しとなったため、業績予想値を修正いたします。

以上